

陸軍

昭和二〇、二五 次官會議報告

元軍用土地及建物ノ應急利用ニ関スル件

(大藏省固有財産部)

元軍用ノ土地及建物ハ、降應急ノ處置トシテ之ヲ戰災者等  
要保護者ノ越冬用及外地引揚者ノ收容施設ニ簡易住宅  
用地トシテ充當スルモノトシテ左ノ取扱ニ據ルコト

一、建物

(1) 戦災都市内及其近接地ニ在ル軍用建物ハ特ニ壕舎生活  
者ヲ優先セシメ戦災者等要保護者ノ本年度越冬用ニ  
使用セシルモノトシテ其ノ他、建物ハ外地引揚者ノ收容施設ニ充  
當スルモノトス 外地引揚者ニシテ戦災地ニ揚陸スルモノニ対シテハ  
戦災者使用ノ建物ヲ使用セシルコトヲ得、

(2) 都道府縣市町村ハ前号ニ充當スルノ適當ト認めラルル軍  
用建物ヲ財務局ト連絡、上、實地調査シ附屬施設備、收容力

等ノ請要件ヲ勘案シタル上財務局ニ申出スルモノトス

(3) 本目的ノ使用スル建物、倉庫修備ハ財務局ニ於テ之ヲ行フモノトシ建物ノ模様替及請致備ノ工事ニ付テハ財務局ノ承認ヲ受ケタル上使用者ニ於テ行フモノトス

(4) 使用承認ハ公営國体、住宅営國戰災援護會其ノ他、社會事業國体ニ於テ爲スモノトス

(5) 使用期間ハ一應昭和三十一年四月(北海道及東北地方ハ五月)末迄ヲ自途トス

但シ<sup>本</sup>地引揚者ヲ收容スルモノニ付テハ引揚後之月ノ自途トス  
(6) 使用料ハ前掲期間中無料トス

二 土地

(1) 戦災地都市内並ニ其ノ近接地ニ在ル元軍用地ハ簡易住宅建設用ニ充當ス

(2) 都、道、府、縣、市、町村ハ前掲ニ充當セシメタル土地ニ付都市計畫



陸軍

交通機関建設資財、生活必需物資、状況之衛生的  
見地等より勸業ニ財務局ト連絡、且官地調査ニ財務局

ニ申出ルモノトス

(西)貸付ハ公共団体住宅営団其ノ他ノ団体ニ計シ為スモノトス

(内)地代ハ原則トシテ有料トシ実情ニ應ジ別ニ定ム

三、其ノ他

右実施ニ當リ建物ニ在リテハ一医療、教育、職業、補導等ノ用  
途ニ供スルモノトシテ通牒シタルモノニ付テモ終戦後ノ現況ニ照シ  
其ノ緩急順序、適宜性等ヲ彼此勸業ニ地方長官財務局  
長協議、且特ニ著シキ支障ナク限リ本件熱冬対策、為  
居住施設確保目的ヲ達成セラルモノトス。

(東京 八社社報)

一四一三七  
一一五八

都 東 埼 千 神 茨 新 群 長 栢 山 靜  
 府 京 玉 葉 奈 城 鴻 馬 野 木 梨 岡  
 県 京 県 県 川 川 城 島 野 木 梨 岡

軍師管周係  
 航空周係  
 一三六、五三三  
 九五四、八一一  
 二一、二五五  
 三三、一六五  
 七、五七二  
 二一、八五二  
 七、八七〇  
 八、七〇九  
 一、九七九  
 一、八七五  
 四、八三九  
 一、九七一  
 一、九〇九  
 一、一三九  
 四、六一九  
 五、五八七  
 三、一七三

宿泊可能建物積量調

計 二、三、一九三一  
 二、四、四七一  
 九、八、四三八  
 七、九、五七二  
 六、四、七三三  
 一、五、三三一  
 一、二、〇三三  
 五、一、一一三  
 二、四、六七五  
 一、七、二二五  
 七、九、五二五

都 廣 宮 愛 福 山 長 佐 大 長 三 愛  
 府 島 崎 媛 岡 崎 崎 方 崎 見 島 重 知  
 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県 県

軍師管周係  
 航空周係  
 一、六、三三六  
 二、六、三三〇  
 二、一、三三〇  
 九、五  
 六、九  
 五、九  
 五、九  
 三、五、一七二  
 三、五、一七二  
 三、五、一七二  
 三、五、一七二  
 三、五、一七二  
 一、二、三三〇  
 五、九、九九九  
 一、四、九〇  
 一、八、〇五七  
 一、八、〇五七  
 一、八、〇五七

計 三、三、九四六  
 二、二、一五五  
 一、三、五五一  
 六、〇、四四七  
 七、七、七五五  
 七、四、二三三  
 一、二、三三〇  
 一、五、一一九  
 一、四、九〇  
 一、八、九二〇  
 二、〇、三三〇

(東京 八旅社係)

陸軍周係

陸 軍

裏面白紙



備考  
一本積量ハ概數トス

福井	兵衛	大坂	佐島	高知	香川	北海道	青森	岡山	富山	石川	岐阜
一三、六七一	一〇、九五七	三八、一九八	三、八一〇	五、〇九二	一三、一四一	二二、二四三	一六、七八五	七、五〇一	三、二八九	三三、七五四	五、九〇一
一三、六七一	四九、六七八	四六、八五五	三、八一〇	五、〇九二	一三、一四一	二二、二四三	三三、六九五	七、五〇一	三、二八九	三三、七五四	一〇、三〇七
島根	熊本	山形	秋田	福島	宮城	岩手	奈良	滋賀	和歌山	京都	
四、五一四	一三、七一三	一三、六八八	一、七四五	三、九五七	六、五八七	七、一八七	二、四七五	二、六八七	一、五六一	一七、五九九	
四、五一四	一三、七一三	一三、六八八	一、七四五	三、九五七	六、五八七	七、一八七	二、四七五	二、六八七	一、五六一	一七、五九九	

陸軍

裏面白紙

(東京 八社社刊)

裏面白紙

陸軍

二 本積量中ニ進駐軍使用建物ヲ含ミテ  
 三 本表中ニ終戰直前戰災ノモノヲ含ム  
 四 積量欄左記載ノモノハ航空關係右記載ノモノハ其他トス

(東京 八旗社刊)



裏面白紙

陸軍

海軍関係

宿泊可能建物收容員数調

縣名	航空隊 收容人員	陸軍 收容人員	收容員数總計
縣名	航空隊 收容人員	陸軍 收容人員	收容員数總計
青森	1	5,000	5,000
福島	1	9,000	9,000
山形	8	(八八九〇)	八,九〇〇
茨城	1	1,000	1,000
千葉	1	(一八五〇)	1,850
東京	4	1,000	4,000
神奈川	11	4,000	15,000
静岡	1	2,500	2,500
愛知	6	7,400	7,400
三重	2	5,000	5,000
滋賀	1	5,000	5,000
縣名	航空隊 收容人員	陸軍 收容人員	收容員数總計
縣名	航空隊 收容人員	陸軍 收容人員	收容員数總計
石川	1	4,000	4,000
同山	1	被爆損害不明	不明
島根	1	被爆損害不明	不明
廣島	1	被爆損害不明	不明
愛媛	1	2,000	2,000
徳島	1	3,000	3,000
高知	2	3,000	6,000
山口	3	5,000	15,000
京都	1	1,500	1,500
兵庫	1	5,000	5,000
福岡	4	(七,〇〇〇)	7,000

(東京 八秋社印)

裏面白紙

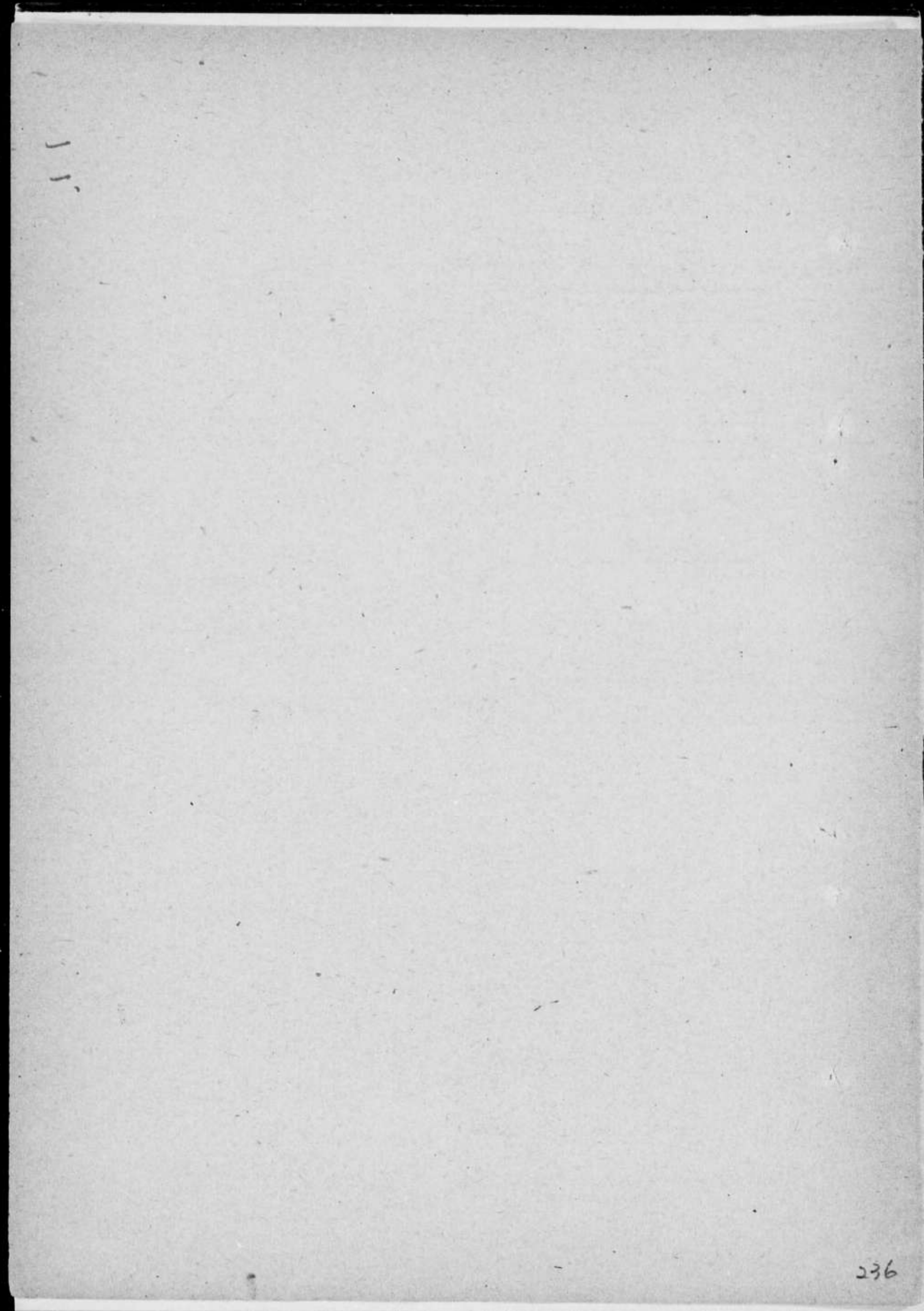
陸軍

大分	ノ	五〇〇
夜見島	ノ	一、〇〇〇
熊本	ノ	五、〇〇〇
總計		一五八、〇〇〇

備考  
 一五八、〇〇〇名收容可能ノ外  
 四六、七四〇平方米ノ收容施設  
 アリ。

(東京 八款計帳)





裏  
面  
白  
紙

236